

MURASAKI PARK KASAMA

―特集―

僕、私が好きな場所

ムラサキパークかさま



SKATEBOARD × BMX



若い日本選手たちの活躍で
注目が集まっているスケートボードとBMX。
競技への期待や関心の高まりが笠間でも色濃く表れています。
オープンから1周年を迎えた「ムラサキパークかさま」。
日本選手権やオリンピック事前キャンプの実施、
「笠間スポーツコミッション」の設置により、
今後の利活用にも注目が集まっています。
若い世代のスケーターでにぎわうパーク。
その中でも、子どもたちの楽しそうな姿が目立っています。
国内最大級の規模となるスケートパークは、
愛好者にとって夢の国。
子どもたちにとっても、パークは楽しい場所で、
夢がふくらむ場所になっています。
今回は、スケートボードとBMXを
心から楽しむ子どもたちの姿をお届けします。



- Interview -

パークの様子、楽しむ皆さんの姿をムラサキパークかさま
店長 明松 輝壮かがりてるおさんに聞いて
みました



ABOUT MURASAKI PARK KASAMA

誰もが気軽に使えるパーク

「オープン当初は近くに住む愛好家が多かったのですが、東京オリンピック後は、初心者もたくさん来てくれるようになりました。全国には大小さまざまなスケートパークがあり、それぞれに役割があるなかで、ここはスケーターの裾野を広げる場所だと思っています」

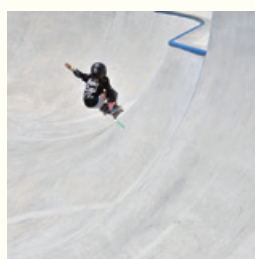
ムラサキパークかさまは「分け隔てなくフラットなパーク」で、世代・レベルに関係なく、誰でも気軽に利用できるのが大きな魅力です。



青少年の育成の場としても

印象的だったのが、パークに来た時にあいさつをする子どもたちの姿。

パークを運営する㈱ムラサキスポーツの理念の一つに「青少年の育成」が掲げられているとおり、ここでは技術の向上だけではなく、あいさつやマナーなどの指導にも力が入られています。保護者からも「たくさんの人とコミュニケーションを取りながら、礼儀やマナーも学べる」「この環境だから安心して連れてこられる」などの声が。とはいえ、かたい雰囲気はなく、子どもたちは「スタッフさんと仲良くなれるからここが好き」と笑顔で話し、明松さんも「私たちはスタッフでありながら、一緒に喜びや痛みを共有しあう仲間でもあるんです」と、スタッフと利用者の仲の良さがみられました。



ここが好き

「環境が充実している」「たくさんの友達に会える」「年齢に関係なくみんなと仲良くできる」「日本では少ないパーク種目ができる場所」など、子どもたちがムラサキパークかさまの魅力をたくさん話してくれました。

パーク常連のなかには、片道約1時間半かけてほぼ毎日通ってくれているという子も。
「楽しい」「ここが好き」であふれるパークに、ぜひこれからもたくさん遊びにきてください。

ムラサキパークかさま注目選手インタビュー

ムラサキパークかさまで技を磨き、各地で活躍する選手たちに話を聞いてみました



Kaori Matsumoto

〈おもな成績〉

2020年4月プロ資格獲得

2021年 Tampa Am: 15位

第4回日本スケートボード選手権大会
Kasama City Cup: 2位

2022年 CHIMERA A-SIDE (1戦目): 3位

第1回マイナビ日本 OPEN: 6位

CHIMERA A-SIDE (2戦目): 2位



まつもと かおり
松本 湊璃さん

高萩市出身。新潟県の開志国際高等学校1年生。小学2年生からスケートボードを始め、種目はストリート。得意技はハードフリップ。笠間の好きなところは「栗がおいしいところ！」。

「笠間のパークは小さい子から大人まで、みんなとワイワイ楽しく滑れて良いなと思います」とパークの魅力話す松本さん。新しい友達と出会い、力を高め合えるのがスケートボードの魅力と話してくれました。人との出会いとスケートボードを心から楽しむ松本さんの姿勢が、チャレンジを続ける大きな原動力となっているのかもしれない。

今後の目標は「海外の大会にもたくさん出て、世界で通用するスケーターになること」。海外での飛躍も視野に入れ、現在は新潟県の高校で技を磨いています。茨城に帰ってきた時には、ムラサキパークかさまにも練習に訪れ、レベルの高い技でパークを沸かせてくれます。



ちだ こはる
千田 小陽さん

栃木県益子町在住。小学3年生からスケートボードを始め、現在は益子中学校3年生。種目はパーク。得意技はバックサイド・フイーブル・グラインド。笠間の好きなものは「森の石窯パン屋さんのホットドック」。



Koharu Chida

〈おもな成績〉

2019年 FLAKE CUP: レディースクラス 優勝

2021年 EXPOSURE: 14歳以下の部 7位

第4回日本スケートボード選手権大会

Kasama City Cup: 6位

2022年 第1回マイナビ日本 OPEN: 5位

「できない技ができた時が一番うれしい」と話す千田さんは、今回の撮影でも納得のいくかたちになるまで「もう一回いいですか?」と、繰り返し練習。その根気強さが千田さんの強みのだろうと感じられました。

妹の美羽さんとほぼ毎日笠間に通い、2人は小学生スケーターたちにとってお姉さんの存在。さらさらとした笑顔でみんなと過ごす姿が印象的でした。「同じくらいの子が増えたら嬉しい。スケートボード、楽しいから一緒にやりましょう!」と笠間の皆さんへメッセージをくれました。



Aoi Yamagata

〈おもな成績〉

2019年 FLAKE CUP 新潟南
キッズクラス: 3位

FLAKE CUP つくば
キッズクラス: 6位



やまがた あおい
山縣 蒼生さん

日立市在住。小学1年生からスケートボードを始め、現在は坂本小学校5年生。種目はストリート。得意技はレールのプラントスライド。大会前には家族で笠間稲荷神社にお参りに行ったとのエピソードも。

堂々とレベルの高い技を次々と決めていくなか、普段はシャイな一面も。お母さんに聞くと「前はもつとシャイな性格だったけど、スケートボードをきっかけに世代を問わずコミュニケーションがとれるようになった」とのこと。本人からも、スケートボードの魅力は「たくさんの友達に出会えて、技を教えあえること」と、スケートボードを通して出会いの楽しさを教えてくれました。

これからの目標は「オリンピックに出て、カッコいい選手になること」。練習中の真剣な眼差しと姿勢に、これからの成長に大きな期待が感じられました。



笠間のスケーターも講師として活躍しています！

SKATEBOARD / BMX スクール

だれでも気軽にスケートボード・BMXが始められる
初心者向けスクールを毎週開催しています。

一人での参加も、大人の参加も OK !
ぜひご利用ください。

スクールの詳細や予約はムラサキパークかさまの
ホームページをご覧ください。



ムラサキパークかさま

住所：笠間市笠間 2345（笠間芸術の森公園）

利用時間：平日 12:00～21:00

土 10:30～21:00

祝・日 10:30～20:00

休園：1月1日・12月31日

TEL：0296-71-9911

利用料金などは
ホームページをご覧ください



check!

Instagram もご覧ください。
ムラサキパークかさまの利用
情報や、利用者のスケートな
どを日々アップしています。



問 都市計画課（内線588）

見ても楽しい 注目 Point

01 ファッション

02 技のきれいさ

04 ジャンプの高さ

03 スピード感



「自分でやるのはこわい」という方は、見るだけでも充分楽しめます！
お散歩しながらスケートパークにも足を運んでみては。芝生に座りながら
自由に見学ができます。スピード感やジャンプの高さ、技のきれいさ、スケ
ーターのファッションなどに注目してみると楽しく見学ができるそうです。